

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 ローマの信徒への手紙 5:5	讃 美 歌 532 ひとたびは死にし身も
讃 美 歌 70 父、み子、みたまの	献 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 エレミヤ書 23:28~29	主の祈り 564
使徒言行録 2:36~38	頌 栄 539 あめつちこぞりて
讃 美 歌 385 うたがいまよいの	祝 禱
説 教 『すべての者に霊の炎が』	後 奏

「人々はこれを聞いて大いに心打たれ、ペトロとほかの使徒たちに、〔兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか〕と言った(使徒 2:37)」。心打たれた「人々」とは誰なのか。聖霊降臨に居合わせた者は三つに分類できる。一つは、聖霊を受けて諸外国の言葉を語り出した(2:4)ガリラヤ人(2:7)。二つ目は、馴染んだお国言葉で神の偉大な業を聞いた(2:11)敬虔なユダヤ人(2:5)。三つ目は、ガリラヤ人の意味不明語を、酒に酔っていると判断した人たち(2:13)。ペトロが使徒と共に(2:14)語った相手は、三番目の冷やかな者たちで(2:15)、彼らこそ使徒のキリスト証言に「心打たれた人々(2:37)」であった。

ガリラヤの人は「聖霊を受けて」語り、諸外国から来た敬虔なユダヤ人は「聖霊を受けて」聞いた。ところが三番目の人々は「聖霊を受けず」に状況を冷静に見ていた。ペトロと使徒は、聖霊に感応した二番目の人ではなく、懐疑的な三番目の人々に語りかけた。敬虔なユダヤ人のように「異言」を理解する者は少ない。だがイエスの出来事が語られることで(2:22~24)、心開かれる者は多い。要するに「大いに心打たれた(2:37)」のだから、幾らかの時間差で彼らにも聖霊が降ったのだ(1コリント12:3)。現代のほとんどのキリスト者は、一番目でも二番目でもなく、この三番目のタイプであろう。

「わたしの言葉は火に似ていないか。岩を砕く槌のようではないか、と主は言われる(エレミヤ23:29)」。

主なる神の言葉は火と槌に似ている。主の言葉である聖霊は、炎の舌として生きて働かれる。また聞く準備ができている敬虔なユダヤ人(使徒 2:5)ではなく、岩を砕く槌として、可能性がない傍観者(2:13)の岩盤を砕く。そこから「人の深み」を掘り起こし、その人に応じた「炎の舌」を授ける。授けられる「炎」は、「心を打つ(2:37)」だけに留まらず、その人の場において、御心を押し開く「舌」になる。

「夢を見た預言者は夢を解き明かすがよい。しかし、わたしの言葉を受けた者は、忠実にわたしの言葉を語るがよい(エレミヤ23:28)」。

夢での啓示を語る者もいれば、神の言葉をそのまま語る者もいよう。無論それらは、福音宣教とか、そういった狭い範囲に限るまい。「『霊』は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださる(1コリント12:11)」のだから、心柔らかく「分け与えられた」自分自身を開けば、ここに御心があると気づくだろう。霊の賜物は「一人一人」違うから、比較などしようもない。

「だから、イスラエルの全家は、はっきり知らなくてはならない。あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなさった(使徒 2:36)」。

「大いに心打たれた(2:37)」人々は、直接手をかけたわけでも、「十字架につける(ルカ23:21)」と叫んだわけでもなかつた。しかし「あなたがたが殺した」と真つすぐに示されると、彼らは身をおろさずにそれをズシンと受け取った。

ペトロは厳しくも親しく語りかける。「兄弟たち、先祖ダビデについては、彼は死んで墓に葬られ、その墓は今でもわたしたちのところにあり、はっきり言える(使徒 2:29)」。

ダビデほどの者であっても生涯は「死」で終る。人間の時は「命から死へ」にほかならない。だがキリストの真実は、命尽きた所から現われる(2:24,32)。キリストにおいては「死から命へ」なのだ。己が罪から逃げず(2:36)、悔い改めて赦していただき、聖霊を受け(2:38)、キリストの「死から命へ」にあやかる(ロマ6:5)。

異言を語る者 聞く者(1コリント 12:10)だけではない 酔っ払いの戯ごと と見る者にも聖霊は降る
言葉の意味性に限らず 音響の有無に限らず 受け入れる器にも限らず 聖霊は思いのままに吹く

6/22 の礼拝説教は長崎哲夫牧師。6/16(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖研(YMCA)。
6/18(水)1:00~3:00 教会カフェ(1:30~2:00 聖書のおはなし)。6/21(土)1:30~3:30メデ・カル・カフェ。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。